

会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	第1回 近江八幡市子ども読書活動推進委員 会議		
開催日時	令和5年6月19日（月）15：30～16：45		
開催場所	近江八幡市立八幡東中学校		
出席者 会長◎ 副会長○	<子ども読書活動推進委員> ◎市島委員 ○工藤委員 藤田委員 三井委員 熊木委員 益田委員 善住委員 伊丹委員 田中委員 <事務局> (挨拶) 富江生涯学習課長 (事務局) 木村学校教育課指導主事 温井生涯学習課指導主事、勝山生涯学習課指導主事		
次回開催予定日	令和5年9月中旬～10月上旬		
問い合わせ先	所属名・担当者名： 近江八幡市教育委員会事務局生涯学習課 温井 電話番号：0748-36-5533 Fax番号：0748-36-5565 メールアドレス： 045000@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	発言記録・要約	要約した理由	

事務局	<p>(1) 開会あいさつ 定刻になりましたので、今年度の第1回近江八幡市子ども読書活動推進委員の会議を始めます。 皆様におかれましては、平素より近江八幡市の子どものための読書活動推進において、各方面でご尽力いただきありがとうございます。 会に先立ち、生涯学習課長がご挨拶申し上げます。</p>
生涯学習課長	<p>(2) 挨拶 「第1回子ども読書活動推進委員会」を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。平素より、本市教育行政にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。日頃は、子ども読書活動の充実に向けて様々な方面でご尽力いただき、ありがとうございます。 さて、今年度第2次近江八幡市子供読書活動推進計画は、最終目標の5年目を迎えます。 これまで毎日続ける読書活動、読書を通じて様々なことを学ぶ活動を大切にしたいという思いで取り組みを進めてまいりました。 今年度も引き続き、第2期教育振興基本計画において、早寝・早起きあき・し・ど・うの運動の強化を挙げ、その中でも特に読書に重点を置き、学校園での読書のみならず、市民全体にも読書活動の推進啓発をしていきたいと考えております。 本日は、第2次近江八幡市子ども読書活動推進計画における進捗状況の確認を中心に、様々な視点からご意見をいただきたいと思っております。 また、今年度の本推進委員会では、第3次近江八幡市子ども読書活動推進計画の策定に向けて議論をいただきたいと考えております。年間5回の会議を予定しております。 この5年間の成果と課題を洗い出し、子どもたちの読書環境がより充実したものになる推進計画の策定を目指したいと考えております。 皆様には、近江八幡市の子どものために読書を通じて、新しい世界と出会い、心を豊かに育むために、なお一層のお力添えを賜りますことをお願いして私の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>続きまして委員の皆様にご説明いたします。本委員会の委員任期は2年となっております。今年度から委員をお引き受けいただいた方に委嘱状を交付させていただきます。本来であれば、委員の皆様にご手渡しさせていただくところですが、時間の関係上、お席に置かせていただきました。これをもって交付とさせていただきます。任期は令和6年度末となっております。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>本日の出席者は9人となっております。半数以上の出席ですので、近江八幡市子ども読書活動推進委員会設置要綱第6条第2項に関する取扱要綱により、本会議は成立しております。公開に関する取扱要綱により、本会議は公開され、会議終了後近江八幡市HPに議事が掲載されますことをご了承ください。また、本会議内容を録音いたしますので、ご了承ください。あわせて記録用に写真を撮影いたしますが、不都合がある方がいらっしゃいましたら、お申し出ください。 今年度は、昨年度からご検討いただいております第3次子ども読書活動推進計画の策定に向けて本会議で議論していただきます。会議は年間5回の計画で進め、1月にはパブリックコメントを行い、2月には完成を目指したいと思っております。 委員の皆様、ご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。</p> <p>では本委員会委員長よりご挨拶をお願いいたします。</p> <p>令和5年度も3ヶ月目を迎えました。それぞれの現場での動きもそろそろ軌道に</p>
委員長	

	<p>乗っていることかと思いますが、いかがでしょうか？そんな動きの片隅に読書活動推進計画が一つでも入っていれば幸いです。</p> <p>さて、先ほどの事務局の方からもありましたように、今年度の子ども読書活動推進委員会は、第3次子ども読書活動推進計画の策定に向けての論議が中心となっていきます。現在の2次では、心豊かに生きる力をつける読書習慣の確立と読書活動の充実を基本目標に掲げ、基本的方針に「4つの読書」すなわち、「続ける読書」「学べる読書」「繋がる読書」そして最後に「心を遊ばせる読書」をおいております。</p> <p>この2次の成果と課題を拾い上げ、第3次で目指す姿を打ち出していければと思っております。そして、「4つの読書」に対応した具体的な取り組み例の検討も必要かと思われまます。どうか委員の皆様のご積極的なご意見を賜りたく、ご挨拶に代えさせていただきますたいと思っております。よろしくお願いたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>(3) 進捗状況について</p> <p>それではこれより議事に入ります。当会設置条項第6条第1項の規定によりこの後の進行は委員長をお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは皆様、お手元に届いております本日の次第に沿って進めて参ります。まず各指標の進捗状況について担当課より報告をお願いします。まず、①学校司書の配置の割合について学校教育課よりお願いします。</p>
学校教育課	<p>現在、学校司書は小学校12校、中学校4校に対して5名の配置となります。昨年度より1名増員となりました。学校司書1人あたり、3校から4校の勤務ということで、ブックトークやリファレンスオリエンテーションなどの授業支援に入っております。</p> <p>また今年度は、学校司書に新しくなっていた方も多いため、司書の方のスキルアップということで、公立図書館の司書さんにも入っていただいて、アドバイスをもらったり、また他市町の司書研修の視察に行かせていただいて「味見読書」であったり、レファレンスのいろいろな実践等教えてもらったことを、また司書さんに広げているところです。</p> <p>来年度は、ちょっと明るい兆しがありまして、学校司書の配置の割合は、この50%の目標に達することができそうな気配です。予算立てをして、ちょうど50%、8名の学校司書配置になるように動いていきたいと思っております。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。それでは続きまして、②1か月に1冊以上本を読んだ子どもの割合について学校教育課よりお願いいたします。</p>
学校教育課	<p>小学校の方は少し低下しているのですが、授業と授業の隙間時間や、休み時間、少し短い休み時間にも読書をということで取り組んでくださっているところですが、2017年度よりも1%ほどダウンしてしまっています。</p> <p>反対に中学校の方は、朝読書を毎日取り組んでくださっている中学校が多くありまして、中学校の授業時間中の読書ということで、少し読書率がアップしているように思います。</p> <p>また、家での読書の時間の確保、読書習慣の確立に向けて、ちょっと手立てを打っていないといけないかなと思っております。</p>
委員	<p>1ヶ月に1冊以上本を読んだ子どもの割合に関してですが、八幡市内の高校に関して、ご報告します。八幡商業高校の他は勤務してないので、何とも言えないのですが、八幡市内の高校で、おそらく本校が、一番読書率が高い高校だと思っておりますので、後ろの方にあります円グラフよりは、本校平均は1冊以上の割合は高めかなとは思っております。資料拝見させていただいて、2017年度の73.6%から2022年度</p>

	<p>57.6%というように下がっているのは、手応え感的には、読書する生徒が減ったというよりも、他の娯楽が増えたというふうに、感じています。</p> <p>コロナ禍を通じて急激な ICT 化も進みまし、無料でマンガ小説が読めるアプリも格段に増えましたし、そういう意味で、家で楽しめるツールが増えたことも、もしかしたら影響しているかなと思います。</p> <p>実際、無料アプリで読んで、それから有料で読むことができなくて、そこから読みたいという生徒の問い合わせは、非常に増えておりますので、本以外の娯楽の方に行く子が増えているのかなという印象があります。</p> <p>他の娯楽があっても本を読む子はいますので、そういう子たちに目を向けて、本の良さとか、読書と有効な関係にしてあげられたらいいかなと思っております。</p>
委員長	<p>それでは続きまして、③家で 10 分以上の読書を継続している子どもの割合について、よろしくお願いいたします。</p>
生涯学習課	<p>生涯学習課です。小学校 4 年生から中学校 3 年生を対象に、1 週間のうち、家で 10 分以上読書をしている日数を尋ねていますが、4 年生は 1 日以上読んでいる子が 36%、5 年生は 32.6%、6 年生は 31%です。1 週間に 1 日は 10 分以上の読書をしている子どもは半数以下です。中学生は、1 年生で 10 分以上が 18.7%、2 年生で 17.4%、3 年生は 14.1%と、小学生に比べて割合はさらに減っているという状況です。</p> <p>クラブ活動や学習に取り組む時間が増え、読書する時間が減ってしまっているのではないかと考えられますが、家で読書の時間を確保するというのが難しい分、学校の教育活動の中で、本に触れる時間を意図的に作っていくことが必要だということは、この調査の結果からも感じるところでございます。</p> <p>高校については、今年度、5 月から 6 月に高校 2 年生を対象に状況調査をしましたところの結果から考えますと、あなたは学校以外で週にどれぐらい本を読みますかという問いに対して読まないと回答した子は 41.6%でした。</p> <p>残りの読むと回答した生徒に 1 日どれぐらいの時間本を読みますかの問いには 10 分くらいが一番長く、34.3%という結果でした。23 年度目標設置している数字には程遠い結果ということが表れております。</p>
委員長	<p>続きまして、④就学前施設での 1 人当たり年間貸し出し冊数について、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>2017 年度の実績から 2022 年度の実績の数字を見ると、大幅に減少した結果が見られるのですが、やはりコロナ禍における外出制限で、各園で実施している本の貸し出しの方法についても見直しをされながらの結果なのかなということが考えられます。</p> <p>その中で、はちっこぶっく号を図書館さんに回っていただきまして、今年度は、ミニの運行が始まっておりますので、その中で新たに、子どもたちに身近に触れる機会を得たのではないかなと思いますので、今年度の目標に近づいていくのではと、期待が持てると思っております。</p> <p>ただ、各園において、貸し出しをする機会というのが違います。うちの園であれば毎週持って帰ってまた持ってきてというような取り組みをしていますが、それが月に 1 回実施の園があります。なかなか絵本環境の部分において、取組自体ができているところとできてないところがあるのかもしれないので、平均でいくとこういった数字になってしまうのかなというように感じております。</p>
委員長	<p>続きまして、⑤学校図書館での 1 人当たりの年間貸し出し冊数について、よろしくお願いいたします。</p>
学校教育課	<p>学校図書館での貸し出し冊数は、小中学校ともに、以前の調査の時よりずいぶん</p>

	<p>減ってしまっている現状があります。小学校も中学校も、学校の図書館以外にも、はちっこぶっく号で巡回に来てくださった時には、たくさんの子が借りている現状はあるとは聞いていますが、やはり小学校高学年から中学校になると、意図的に学校図書館に向かうということが少なく、休み時間だけの貸し出しとなるとこういう結果になってしまう現状があります。</p> <p>また学校によって、教室と学校図書館の距離があったり、行きづらさがあり休み時間に図書室に来るまでの時間の確保ができないというような現状もあったりしています。</p> <p>ただ子どもの手に取りやすいところに本を置くということで、中学校では先生がホールやブックカートに本を置いてくださったり、朝読書に向けて司書の方が選書して、廊下に並べたりということで、それぞれの学校で工夫してくださっているところ。個人の貸し出し冊数となると、データとしてはこのような結果になります。</p> <p>まず図書室で授業をするなど、そういう機会をちょっと広げられるように、当課としても考えていきたいと思っております。</p>
委員長	<p>⑥図書館での児童書の1人当たりの年間貸出冊数ですが、本日図書館さんは欠席となっておりますので、また詳細は次回にさせていただきます。</p>
委員	<p>次に、⑦図書館と連携を実施している校園所の割合についてお願いいたします。</p> <p>図書館との連携ですが、大変熱心に図書館の方から園にアプローチしていただいています。具体的には、図書館に園から訪問に行くこともありますし、はちっこぶっく号が来てくださった時に、必ず司書の方がお話をさせていただきます。図書館からお勧めを定期的に50冊程度持ってきていただいたり、その本を保育で活用したりといった取組もしていただいております。職員にとっても、子どもたちにとっても、充実した取組をしていただいております。</p> <p>特に3月まで私は別のこども園におりましたので、その園において、図書館利用率がかなり低いということに注目していただき、学区の読書推進5ヶ年計画という取組をしていただいたのですが、子どもたちの育ちがみられ、子どもたちの豊かな経験という非常に大きな成果を私自身も感じました。そういった取組を、今後いろいろなスポットを当てながらしていただけると非常に充実していくのではないのかなと思っています。</p>
委員長	<p>今の報告は幼児課からでしたが、学校教育課で何か補足ございますか。</p>
学校教育課	<p>小中ともに100%ということで、貸し出しの他に、小学校では図書館見学であったり、中学校でしたら職場体験で司書の仕事の体験をさせていただいたりということで、図書館と積極的に連携してくださっています。</p> <p>特に資料収集については、選書も司書さんのお力を借りながら進めてくださっているところ。です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では最後、⑧読書活動に関わる研修の実施や研修への参加について、よろしくお願いたします。</p>
委員	<p>幼児課主催の研修におきましても、毎年読書に関する研修会を計画していただき、選書の視点、絵本環境の大切さ、読み語り大切さなどを含めて、様々なテーマで学ぶ機会をいただいております。また各園の取り組みの中にも、重点に絵本の大切さを置いている点もたくさんありますので、各園単位でも、講師の方に来ていただきながら、学ぶ機会を持っていると感じておりますので、数値も結構高いかなと感じ</p>

委員長	<p>じております。</p> <p>ありがとうございました。 それでは続きまして、学校教育課さんお願いいたします。</p>
学校教育課	<p>昨年度の数值は40%ですので、今年度、研修の機会をつくっていきたくと思います。今年度は、八幡中学校と岡山小学校で、読書推進モデル校をしていただきまして、そちらの方で夏季研修を行ってくださる予定です。</p> <p>それから、学校教育課や教育研究所での初任者研修、それからネタの種講座で、読書に関する講座の計画もしているところです。</p> <p>また生涯学習課と一緒に、8月に「子ども読書の推進研修会」ということで、昨年は、尾野三千代先生に来ていただきましたが、今年度は、小野田文雄先生をお招きして、学校の教員、学校司書、ボランティアを対象として研修をする予定をしています。小中学校の図書館部会の方に連絡をさせていただいて、積極的に研修に参加していただこうと思っているところです。</p>
委員	<p>安土小学校おはなしボランティアによきによきは、20年ほど前からお話ボランティアとして安土小の子どもたちに向けてのボランティア活動をさせていただいております。現在15名のメンバーに登録させていただいており、多いときは週に1回、人数的に難しいので2週間に1回程度、皆さん自分で好きな本を持って、お話をさせていただいております。またよろしくをお願いいたします。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。以上で、各担当課による報告を終わりたいと思います。</p> <p>(4) 意見交流 それでは協議および意見交流に入りたいと思います。 今の報告を受けて、委員の皆様よりご意見やご質問もあると思います。何か日頃から思っておられることを、今お聞きいただいたことで、質問等ございましたらお出しいただければと思います。</p>
委員	<p>私は小学校に勤務しておりますが、それまでは中学校でした。昨年は金田小学校にいて、今年は老蘇小学校にいたのですが、図書室の環境でいうと、金田小学校は大変充実しています。広いですし、新しい本がたくさんあります。それから図書館ボランティアの方もたくさんいてくださりまして、季節ごとに飾り付けもどんどん変えてくださるような感じで、その中で子どもたちが利用していました。ただ児童数が900人ぐらいいるので、割合にするとまた違うかもしれませんが、中休みも昼休みもいつも利用者は多かったというイメージがあります。</p> <p>老蘇小学校の学校図書館は、5、6年の教室からは近い場所にありますが、他の学年からは遠いのと、また本の冊数が少なく、古い図書が多いので、環境面では今後充実させていきたいところです。子どもの様子として、やっぱり外遊びとか体育館の割り当てで体育館に遊びに行く子の方が多く、図書室の利用はちょっと少ないかなというふうに感じています。読み聞かせでは、お話ボランティアくすくすさんがいてくださるので、週に1回の読み聞かせと、教師による読み聞かせをしています。学年の取組もあって、例えば4年生から2年生におすすめの図書を紹介する取組などもやっているのですが、本に触れる機会はそういったところで多いかなと思います。</p>
委員長	<p>学校図書館の環境は、すごく子どもたちにとって影響すると思います。はちっこぶっく号の貸し出しは、本当にみんな楽しみにしていて、毎回老蘇小学校には来てくださいますので、みんな2冊ずつ借りているような状態です。</p> <p>それから研修の面でいうと、昨年度小学校ではPTA研修として、八幡図書館の館長さんに来ていただいて研修会を開いたということを知っています。保護者への啓</p>

	<p>発も引き続きしているところで、昨年度までは親子読書というのをしていたのですが、だんだん高学年になってくると、親子読書っていうのが難しくなってくるという意見があったので、今年度から「家読書」という形で、毎月第3土曜日を含むその1週間は、「家読週間」ということで、「親子または家族で読み聞かせをする」「一緒に別々の本を読む時間を取る」「詩や文章の音読に取り組む」の3つから選ぶというようなことで取り組んでいただいています。それはPTA本部の活動ということで、続けてやっていますので、保護者にとってはちょっと負担というところも、もしかしたらあるかもしれません。けれども、そういったことにより、親子でまたは家族で読書をする機会を意図的につくっているところです。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。非常にたくさんのことをしておられる現場の様子が伝わってきました。</p> <p>老蘇小学校の蔵書数っていうのが基準の数に足りていますか？実は5月5日のこどもの日の新聞に、全国SLAが調べた蔵書数の結果が出ておりました。その結果を見ると、中学校は達成状況が全国平均を下回っていて、滋賀県は全国最下位。小学校はそんなに悪くはないです。この中学校最下位とは、どこの市が影響しているのだろうと、近江八幡市ではそんなに蔵書率は低くはないのにな、という気がいたしました。蔵書数の件につきましては、全国SLAのHPの蔵書数というところを検索してもらえば、計算して自分の学校の冊数が足りないかどうかを確かめられますので、お知りおきいただきたいと思います。蔵書数については、あまり話題になったことありませんね。皆さんに見ていただけたら、近江八幡市ってすごいなって感じてもらって、先生方がやる気を出してもらえるのかなというふうに思います。</p> <p>他いかがでしょうか。岡山小学校では、今年度はどんなふうに読書活動についての計画をお持ちでございましょうか？</p>
<p>委員</p>	<p>岡山小学校では、今年度読書に力を入れています。授業の中で図書を使っていこうという形で計画をしていて、校内研究とタイアップしています。各学年が図書を使って授業をするときに、必ず単元のどこかで学校司書と連携した授業を行います。学校司書が準備した本を使っての学習の研究授業を1学期2回実施しました。</p> <p>1回目は、国語の「ヤドカリとイソギンチャク」の単元で、教材文の学習した後、子どもたちは並行読書で共生している他のものについて調べ、その後、自分たちで選んだ生き物の共生についてパンフレット作りに取り組みました。</p> <p>2回目は、6年生が修学旅行に行ってお土産を見てきたので、市立図書館の司書の方に本を集めていただき、廊下に並行読書として置いて、子どもたち一人一冊ちゃんと手に取れるように準備しました。いろいろな種類の本があって、子どもたちはそれぞれじっくり読んでいて、大人も知らないようなこと子どもたちが知っていて、すごく楽しい授業をされました。</p> <p>このように学年で中心の教材を決めて、今取り組んでいる途中です。2学期からも学年ごとにいろいろな授業の中で図書を使っていこうと計画しています。計画なので変わるかもしれないのですが、1年を通して何月にこの学年がとかいう感じのもんです。まず年度初めには、学校司書さんとの出会いの場としても設定し、「図書室のきまり」や「分類番号」などを学年の発達に合わせてお話いただいています。どの学年も4、5月に実施しました。その後、調べ学習で1回、読みの学習で1回は図書を使った学習を計画しています。</p>
<p>委員長</p>	<p>すごいですね。1年間の計画があれば、また次の学年にそれが生かされていきますね。何となく、いろいろな学年で今までもされてきたと思うのですが、4月当初に「ここでしょう」というのを決めたのは、今年度が初めてですか。</p>
<p>委員</p>	<p>はい。</p>

<p>学校教育課</p>	<p>今、年間計画のお話が出たのですが、今年度は小中学校全ての図書館担当の先生が「図書館活用計画」を年度当初に立ててくださって、今集まりつつある状況です。小学校中学校ともに、目標と今どんな課題があってそのためにどのような計画をしていけばいいかということで、「1年間の図書館の業務内容」、「図書委員会の活動内容」、「ボランティアの活動内容」「司書の活動内容」の計画を立てていただきました。また詳しい授業での司書活用や、教材の利用についてまで立てている学校もあります。また、詳しい授業での司書活用や教材の利用についてまで計画を立てている学校もあります。</p> <p>また今年はこの実践を積んでいくために、司書を活用した授業や、図書を利用された授業について、年間2本以上は報告をあげてくださいということでお願いして、岡山小学校のように図書を使った授業や司書に本を集めてもらったというような実践について、秋ぐらいに一度集まっての交流しようと考えています。</p>
<p>委員長</p>	<p>委員の皆様から、「こんなことを進めているよ」ということがありましたら、補足をお願いしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>中学校は、なかなか指導が難しいと言われるのですが、先生方はこだわってやってくれています。市の方では、読書に力を入れるということで、重点目標に挙げられていますので、学校の方で進めているところです。</p> <p>先ほどの、1ヶ月に1冊以上本を読んだ子どもの割合が90.5%というのは、おそらく朝読書のことを指しているのかなと思っていて、これは100%と違うのかなと思うのですが。本校も朝読書に関して、担任の先生の気持ちが入らないと指導できないので、こだわって指導してほしいと言っています。ようやく本校でも、朝8時25分からは500人ほど生徒いますけれど、シーンとしてやっている状況です。</p> <p>今後、課題としては静かにしているだけで、本当に読書へのいざない、本へのいざないができたのかということ、次また先生方をお願いしていかないといけない。いつまでも同じ本を広げて眺めているのではいけない、というふうに思っているところです。</p> <p>あと、子どもたちに読書に向き合わせるために、中学校に委員会活動がありますので、本校では図書委員会を中心に週4日は開館しています。子どもたちは、時間を守っていますし、騒ぎに来る子はいませんので、図書室に昼休みになったら一定数子どもがいます。それと朝読書の時間に、月1回、読み聞かせを地域の方にしてもらっています。読み聞かせにとどまらず、読書紹介という形でアプローチしていただいているボランティアの方もいらっしゃいます。</p> <p>それと、会議前に、本校の図書室が綺麗と言われましたが、ここはボランティアさんの手が入って、いろいろな飾り物や子どもが来やすい雰囲気は、図書ボランティアさんによって作られて、壁面に掲示している「ありがとうございます」というのは、図書委員の子どもたちがボランティアさんに向けて感謝を記したものです。</p> <p>あと、図書館との連携ですが、昨年、複合科でレポートの指導をするために、そのテーマに沿って図書館の司書の方に選書していただきました。無事そういうレポートの指導をすることができ、非常にありがたかったと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>それぞれの現場では、小学校でも中学校でも図書委員会っていうのがありますね。高等学校でもあるのでしょうか？あるとすれば、図書委員会だけの独自の動きではなくて、例えば、放送委員会とタイアップして何か活動することもありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>八幡商業高校に関しましては、昨年度、各教科部会と並びまして図書館部会の研究でも、毎年テーマを決めています。</p> <p>本校の図書館の立地が悪くて、渡り廊下を渡って、かつ別館の2階に図書館があるので、「いい本あるよ」だけでは生徒が来ないので、図書館に足を運んでもらうた</p>

<p>委員長</p>	<p>めの、別のアプローチが必要です。昨年度コラボをということで文化的なアプローチをしています。本校の部活動と図書館で何かイベントをして、ミュージアム的な感覚を持ってもらおうということを企画実施しました。</p> <p>昨年度に関しましては、写真部の作品を図書館で展示してちょっとミニミュージアム的なことをしたり、家庭部さんで農業高校さんから仕入れた材料で作ったスイーツを文化祭で図書館カフェということで販売したり、コロナ禍だったので、飲食はしてもらえなかったのですが、そういったミュージアム的にちょっと面白いイベントをして、図書館に足を向きやすいような雰囲気作りを昨年度1年間通してさせていただきました。全く図書館に来ない生徒もこういうイベントに来てくれたことによって、通常の本からのアプローチももちろんするのですが、そういった多角的なアプローチが今後も必要かなと思っています。</p> <p>ありがとうございます。いろいろなことができるのですよね。</p> <p>また小学校、中学校でも参考になさって、いろいろなアプローチの仕方で、読書活動に成果が生まれるような取り組みをお願いしたいと思っています。</p> <p>他に、皆様からご意見ございませんでしょうか？</p> <p>それでは、次の議題に入りたいと思います。</p> <p>第3次子ども読書推進計画策定に向けた分析について、事務局の方よりご説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>レジュメの5番をご覧ください。</p> <p>昨年度末、この委員会で決めていただいた第3次子ども読書推進計画の策定に向けた割り振りを載せています。</p> <p>この策定に向けた資料になるアンケート結果を添付しました。このアンケートは、今年度の5月から6月にかけて、4歳児の保護者、小学校2年生、6年生、中学校2年生、高校2年生に協力していただきました状況調査の結果の未完成版です。若干まだ未提出の学校がございまして、ただ今そちらに要請をかけているところで、出そろいましたら、委員の皆様にお届けさせていただこうと思います。</p> <p>今回は、グループに分かれていただいて、分析をする時間を取りたいと考えております。今回は9月を予定しております。アンケート結果を委員の皆様に送らせていただきますので、結果から見える成果と課題を考えていただきたいと思います。9月の日程調整は後日させていただきます。次回も、本日のように図書館を使って会議を進めたいと思っています。また会場の依頼をさせていただきますので、ご協力をお願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>ただいまの説明を受けて、委員様よりご意見ご質問をお受けしたいと思っています。何かございましたらお出してください。</p> <p>それでは、今ご説明いただいたのは、昨年度の最後の会議の中でも、決定事項でございましたので、委員の皆様、次の会議でいろいろな意見が出されるよう、よろしくをお願いいたします。</p> <p>最後に、今年度の子ども読書活動推進に関わる具体的な取組について、事務局よりお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>本委員会では4月23日の子ども読書の日、11月の市民読書月間に向けて読書推進の取組として、昨年度は子ども、保護者、教職員向けでおすすめの本紹介ポスターや冊子の制作、そして夏休みを読書活動推進のチャンスと捉え、おすすめの本や紹介リーフレット、家読リーフレットの作成し、配布しました。作成にあたっては、学校図書館司書の皆さんと、市立図書館に おすすめ本の選書にご協力いただきまし</p>

<p>委員長</p>	<p>た。これらの取組は、読書推進「家読」の啓発に大変有効だったと聞いております。今年度はどのようなことに取り組むか、学校図書館司書の皆さんと、市立図書館の司書の皆さん、ボランティアの皆さんと連携をして取り組んでいきたいと思っております。皆様にご意見いただきたいと思っておりますので、よろしく願います。</p> <p>また、先ほど学校教育課からも話がありましたが、8月8日火曜日午後小野田文雄先生をお招きして、教職員、読書ボランティア、学校図書館司書、公立図書館司書の方を対象にご講演をお願いする予定でございます。ぜひ、参加していただきたいと思っております。</p> <p>ありがとうございます。今年度も昨年度に引き続き、ポスター等を作ってくださいかと思いますが、できれば、紹介される図書が学校図書館に入っていると、子どもたちは喜んで図書館に行くのではないかなと思います。担任の先生方からも、この本は図書館に行ったらあるよって一言言ってもらえればちょっとまた違うのではないかなと思います。そのあたりの連携も一つよろしく願いたいかなと思います。</p> <p>では皆さんの方から、事務局からの提案についてご質問ご意見ございましたらお出しいただきたいと思っております。</p> <p>これからいろんな会場を回らせてもらうことになるのですが、今日のように、いろんな図書室の様子がわかって、委員さんも、中学校がこんなんだとか、高校はここまでできるんだねっていうのが、見せてもらえる非常に私自身楽しみにしています。</p> <p>老蘇小学校ですけれど、非常にいろいろ活動してくださっているお話をしてくださいましたが、生徒数は何人ですか。</p>
<p>委員</p>	<p>160人です。</p>
<p>委員長</p>	<p>子どもが市立図書館まで出向くには遠い、という声を聞くことがあります。住む場所によっても違いはありますが、やっぱり「本は学校図書館にもありますよ」と、伝えていきたい。学校ごとに選書が変わってくると思います。</p> <p>去年の秋のポスターは、学校ごとに選書してくださって、できるだけ学校図書館にある本をと選んでくださっていますが、やっぱり図書館にないっていうお声もいただいたので、今年度の選書には、今リストあげてもらっているポスターにある本は、買ってくださいとお願いしています。</p> <p>公立図書館さんもポスターに載っている本を展示コーナーに全部並べてくださって、4月の子ども読書月間の時には、結構貸し出しがあったと聞いたので、やはりいろんなところと連携するというのは大事なかなと思います。</p> <p>それから、日頃から考えておられることで、こういうのを取り入れたらどうだろうとか、こういうので困っているのだけれども、どうしたらいいだろうとか何かお考えありましたら、今日せっかくの機会ですので、お出しください。</p>
<p>委員長</p>	<p>安土小学校おはなしボランティアさん、いろいろ回っておられますが、好きな本を持って各教室に行かれるようなことを先ほどお聞かせいただいたのですけれども、好きな本というのは、これは学年にとっては必要な本、読んでほしい本、読んであげたい本というものがあるのか、それともボランティアの皆さんお一人お一人の好みによって、何でもいいよというふうになっているのか、そのあたりはどうなのでしょう？</p>
<p>委員</p>	<p>後者の方です。個人で皆、それぞれに好きな本を読んであげたい、これを伝えていきたいと思っている本を読んでおります。ただ、朝の10分間の間に完結する本ではないといけない。そうすると、もちろん1年生に読む本と6年生に向けて読む本はもちろん違いますので、そのあたりはそれぞれの技量によるところが大きいですが</p>

	<p>れども、ほとんどの者が子育て経験のあるボランティアさんや、お孫さんがいらっしゃるボランティアさんなので、自分の子どもや孫がいるクラスに行きたいなという方もいらっしゃいます。もちろん、それぞれの学年で学習している内容に合わせて読んだりしますし、安土小学校でしたら「西の湖学習」を4年でやるのですが、それに合わせて西の湖のことを書いてあるような本にしようとか、安土の昔のことをお伝えするような内容の本を選んでいたりとか、そのあたりはもちろんみんな上手に考えています。</p> <p>それとあとは、今まで読んできた「1年生にはこの本」「2年生にはこの本」というのをデータベースとして残しておりますので、それを私達、毎日顔を合わせるわけではありませので、LINE グループで繋がっていて、LINE グループの中のアルバムやノートの中に、その昔の本を数年ですけれども、何月にはこういう本を読んだやはり季節も関わってくるので、暑い時期には暑い時期のもの、冬の寒い時期とかそのあたりも考えながら昔の資料を見ながら選んでもらっています。</p> <p>それと去年はちょっとコロナ禍もあり、開催が少なかったのですが、読み終わった後に10分間でも15分でもいいので、図書室に集まっています。「今日はこの本を読みました。」「こんな反応がありました。」「この本はちょっと難しかったのか、反応が薄かったとか。」など、いろいろとクラスとか学年によって反応が違っているので、そういうのも話し合っています。やはり、読み手によっては、科学系のものが好きな人もいれば、昔話が好きな人もいますし、話し合うことで、こんな話もあるのだ、これ面白いから今度読んでみようかなと、皆それぞれの学びの場となっております。</p>
事務局	<p>生涯学習課では、「家読」を推進していくために、不読率をキーワードとして、取組を考えています。子どもたちの放課後の居場所の一つとして、現状として学校からすぐに家に帰るのではなく、学童保育所へ行く、ということが挙げられると思います。今、学童保育所さんにアンケートの回答をお願いしているところです。「学童保育所で本を読む子はいますか」「本を読めるスペースはありますか」等、聞かせてもらいたいと思っています。</p> <p>ほかには、先ほど老蘇小学校さんのPTA行事中での取組の報告がありましたが、生涯学習課でも、主催する子育てサロンがありますので、その時に読み聞かせにお勧めの本を紹介するコーナーを作ったり、興味持ってもらえるような発信をしたりしていきたいと、課内で検討しております。</p>
委員長	<p>いろんな所属、いろんな分野において、読書活動が必要かと思われまので、こういうことをやったらこんな成果があったよと、いろんなところで発信していただきたいと思っています。</p> <p>一つの学校が発信すればまた別の学校でもそれをやってみようというふうにも繋がっていきますし、そしてそれを続けていくことで、その学校の特別な行事として浸透していくのではないかなと思います。</p> <p>読書活動の中では、本を読ませるだけではなくて、やはり新聞にも目を向けさせるとか、先ほど八幡東中でレポートの書き方について図書室を使ってというのがありました、何年か前に高校の司書さんからレポートの書き方を中学校で学ばずに高校で困っている、そんなことを聞いたことがあります。先ほど、八幡東中のお話を聞いて、やはりこれは大事なことの一つだなと思います。新聞を活用するというのも、すごく今いろんなメディアで取り上げられていますので、そのあたりのところも小・中学校でも取組いただけるといいのではないかなと思います。また具体的なことは、次の会議等々でいろいろお話をさせていただきたいと思っています。</p> <p>不読率を下げるということに繋がる活動を、まずは地道なところから広げていければいいと思っています。</p> <p>一つは朝10分の朝読書ですが、あれは毎日やることで定着して力がつく、1週間に1回とか2週間に1回、行事的に入れるのではなくて、やるんだったら毎日やっていくといい、そんな話を、本で読んだことがあります。</p>

事務局	<p>でも最近朝の10分間でやることがほかにあると、小学校さんからも聞いております。</p> <p>中学校では、計算や漢字も大事だしということで、非常にご苦労いただいていると思います。けれども、それぞれの現場で、やはり全市挙げて読書教育に力を入れようということになっておりますので、そのあたりのところももっと定着していくように広がっていくように、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>それでは、終了の時間も近づいてまいりました。今日出てきた貴重なご意見は、今後の会議の中で反映されることと思います。</p> <p>以上、本日の議事は終了いたしましたので、ここで議長を解かせていただきます。皆様ご協力ありがとうございました。</p> <p>委員長ありがとうございました。</p> <p>皆様本日はお忙しいところありがとうございました。</p> <p>まずは本日、進捗状況を共有させていただきまして、次回は、より具体的な分析をこのメンバーで行いたいと思います。</p> <p>それでは一旦本委員会を閉じさせていただきます。</p> <p>アンケートの方は、全回答が揃いましたら最新のものを後日送付させていただきますので、2回目の場までに見ていただきますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>皆様ありがとうございました。</p>
-----	--

担当課 ⇒ 総務課